

カルバリバプテスト教会 信仰声明

私達の信じている事

1. 私達は、聖書が神様の靈感によって書かれた神様の言葉であり、そこに誤りはなく、信仰、教義、クリスチャンとして生きる事の全てにおいて十分な権威だと信じます。
(②テモテ3:16、②ペテロ1:20~21、②テモテ1:13、詩篇119:105、160、12:6、箴言30:5)
2. 私達は永遠に存在する、父、子、聖霊の三つの人格を持った一人の神を信じます。
(創世記1:1、26~27、3:22、詩篇90:2、マタイ3:16~17、28:19、①ペテロ1:2
②コリント13:14)
3. 私達はイエス・キリストの処女降誕と、イエス・キリストが真実の神であり、人である事を信じます。彼は私達の罪の為に十字架で死なれました。そして彼の身体は死から蘇り、天に昇り、父なる神の右に座しておられ、今は私達の大祭司であって、私達を弁護して下さる方なのです。(マタイ1:22-23、イザヤ9:6、ヨハネ1:1~5、14:10~30、ヘブル4:14~15、①コリント15:3、4、ローマ1:3~4、使徒1:9~11、①テモテ6:14、15、テトス2:13)
4. 私達は、人は神様のかたちとして創造されたけれど罪を犯す様になり堕落してしまった、と信じます。聖霊の働きによる新生によってのみ、人は魂の救いを得る事が出来ます。(創世記1:27、3:1~24、イザヤ53:6a、ローマ3:23、イザヤ59:1~2、ヨハネ3章、エペソ2:4、テトス3:4~7)
5. 私達は、永遠の救いは神様からのプレゼントであり、人の働きによるのでは全く無く、イエス・キリストが主であり、救い主であると信じる信仰によってのみ得る事が出来ると信じます。(エペソ2:8~10、ローマ6:23、ヨハネ3:16~18)
6. 私達は、教会員(教会メンバーシップ)とは、イエス・キリストを主、そして救い主として信じる事によって、新しい始まりを経験した人達で形成されると信じます。
(ヨハネ3:3~8、テトス3:4~7、①テモテ3:14~15)
7. 私達は、バプテスマは浸水でのバプテスマを、そして主の晩餐(聖餐式)はイエス様の苦しみと十字架での死を思い出させる式だと信じています。これらは今の時代でも教会によって守られなければならない命令です。でもこれらの儀式をする事が人を救うものではありません。
(マタイ3:13~17 [ギリシャ語の baptizo は「水に沈める」という意味です。バプテスマのヨハネ、イエス様、使徒達がやったやり方です] ルカ2:14~22、エペソ2:8 (救いはキリストへの信仰による恵みのゆえにあるのであって、儀式を守る事によってではありません。))

8. 私達は、主イエス・キリスト御自身が、今にも栄光に満ちて戻って来ると信じます。
イエス様の再臨があるという事は、それを待つ間、信仰者達がダイナミックで熱心に
生き、仕えるよう、奮い立たせると信じます。（使徒1:11、①テサロニケ4:16、マタイ
24:29~31、黙示録22:12）
9. 私達は身体の死からの甦り、救われた者達の永遠に続く祝福された天国にある救い、
そして救われていない者達は神様から離され地獄で永遠に続く罰を受けると信じます。
（①テサロニケ4:16、黙示録20:11~15、21:1）
10. 私達は地元の教会の自主性（行動や意思の自由）を信じます。カルバリバプテスト教会
は自分達で色々な事柄に対処し、他の宗教、または他の組織の影響を受けません。

私達は、この教会で礼拝する沢山の人が、異なった多くのキリスト教の宗派の
バックグラウンドから来ていて、私達の信仰声明の全ての部分に賛成、又は理解して
いない事を認知しています。それは、信仰声明にはバプテスト教会独自の物が含まれて
いるからです。だからこそ私達は、クリスチャンの調和の道義を保つ事を求めます。

絶対不可欠な信念 — 私達は一致を求めます。

からだは一つ、御霊は一つです・・・主は一つ、信仰は一つ、バプテスマは一つです・・・
すべてのものの父なる神は一つです。（エペソ4:4~6）

絶対不可欠ではない信念 — 私達は自由を行使します。

あなたがたは信仰の弱い人を受け入れなさい。その意見をさばいてはいけません・・・
あなたはいったいだれなので、他人のしもべをさばくのですか。しもべが立つのも倒れる
のも、その主人の心次第です・・・こういうわけですから、私たちは、おのおの自分の
ことを神の御前に申し開きすることになります。あなたの持っている信仰は、神の御前で
それを自分の信仰として保ちなさい・・・（ローマ14:1、4、12、22）

私達の全ての信念において — 私達は愛を表します。

また、たとい私が預言の賜物を持っており、またあらゆる奥義とあらゆる知識とに通じ、
また、山を動かすほどの完全な信仰を持っていても、愛がないなら、何の値うちも
ありません。（①コリント13:2）